

縁日やスポーツ系、べっこう飴づくり
謎解きや抽選会など盛りだくさん

見附中の挑戦

友和祭!!!



さつまいもマスコット
『みチューまいも』

これまでCSニュースでお伝えしてきたように、学校の基本方針である「未来を共に創る」取組をとおして、地域保護者の方と共にどのような子どもたちの問題解決能力や自己肯定感を育めるか、友和会スローガンである「挑す仲間と共に、見附と共に成長していく見中」を実現できるかを考えてきました。その活動の集大成としての『友和祭』が、十一月十七日（日）見附子育て教育の日に、ついに開催されました！子どもたちが企画したイベント中、目をキラキラさせている子どもたちのワクワク感や、子どもたちと共に楽しむ地域・保護者の皆様の様子が学校の中に溢れていました。

自分たちのイベントを楽しんでもらおうと主体的に呼び込みをする姿、一生懸命にねいにイベントの説明をする姿、予想しなかったことが起きた時に仲間と協力して解決しようとする姿など、日常の学校生活では見られない子どもたちの姿を見ることができ、子どもたちの成長を感じることができました。

今後に向けて、学校運営協議会を中心に協議を重ね、充実した活動の継続に繋げていきたいと考えています。

たくさんのご協力とご理解、ありがとうございました！

たくさんのご来場ありがとうございました

焼きいも配付に大行列！

みちゅまいもは「ねっとい」「ホクホク」「甘くて」おいしかったと感想をいただきました！



多くの感想をありがとうございました！
これからの取組に生かしていきます！

教職員

- 前例がない中で、子どもたちはお客さんの立場に立って「ああでもないこうでもない」と細かい所までこだわって考えていました。3年生は、自分たちでゼロから考え創り上げることに楽しさを感じているようでした。
- 1年生も1年生ながら先輩に質問したり、うまくいかないところを自分たちで解決しようと知恵を出し合っていました。
- 生徒がとても生き生きと活動していました。生徒も縦割りグループの中で活動したり、いろいろな出し物をまわったりできていて、すごく良い活動だったと思いました。

子ども

- 学校中を歩いていてすごくみんなが楽しそうな顔をしていたし、自分のブースの受付をしてたくさんお客さんが来てくれて嬉しかった。それに、他のブースに行ってみるとすごい明るい雰囲気でもかえてくれた。
- 地域の人と関わったり地域貢献のできる行事をこれからも続けたり増やしたりしていけたらいいと思った。
- 地域には、色々な年代が住んでいるので、どの年代でも楽しめるものを作るのが大切だと思った。
- 見中の人たちだけでなく地域の方も楽しんで嬉しかった。

地域・保護者の皆様

- まずは、友和祭の復活とっても嬉しいです。地域の方々と、色々話し合いをしていたりを紙面では見ていましたが、映像で見て、取り組んでいる姿が大人だなと感じました。スマイル活動では、地域の方々の希望を取り入れる等、素晴らしいですね。簡単のようで中々出来ません。これからも、地域との取組を続けて下さい。出来れば、もっと色々な分野で取り組んで欲しいです。ありがとうございました。
- 焼き芋を食べるだけでなく、友和祭と結びつけた企画や抽選なども楽しめました。
- みちゅまいもはとっても美味しく感動しました。種類が3種類あり、分けて収穫していたようなので、種類で分けて販売しても、楽しめたように思います。
- 野菜を育てて販売したりする活動は小学生までなのかなと勝手に思っていたのですが、全然そんなことはなく、むしろ自分たちで考え企画できる、実行できるがより具体的な活動に繋がれると思いました。逆に小学生も少し手を貸してあげれば高学年の子どもたちなら中学生と同じくらい活動できると思います。子どもが減って、学び方も多様化し、もしかしたら学校の枠はいずれなくなるかもと想像してましたが、学校でやる価値のあることはまだまだあって、地域は喜んで巻き込まれて行くべきだなと思いました。
- 素晴らしい取り組みだったと思います。地域にはいろんな知恵や技を持った方々がいますから、こういう交流を通して、学校が近くなっていくのは私たちもありがたいです。

これからも **未来を共に創る** 取組に **挑** んでいきます！